



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月30日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,298	△1.0	200	△43.3	230	△37.6	107	△54.7
29年3月期第3四半期	13,436	△0.5	353	△9.8	369	△6.5	237	△2.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	51.29	—
29年3月期第3四半期	113.25	—

※平成29年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,742	4,590	33.4
29年3月期	12,782	4,487	35.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,590百万円 29年3月期 4,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.00	2.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い平成30年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	0.9	330	△14.3	330	△17.4	140	△42.2	66.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い平成30年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期3Q	2,103,948株	29年3月期	2,103,948株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	9,809株	29年3月期	9,098株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	2,094,500株	29年3月期3Q	2,095,141株
----------	------------	----------	------------

※平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

平成29年6月29日開催の第83期定時株主総会の決議により、平成29年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合いたしました。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び、業績予想は以下のとおりであります。

1. 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 1円50銭
2. 平成30年3月期の業績予想 1株当たり当期純利益 通期 6円68銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(セグメント情報等)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費も一部に持ち直しの動きがみられましたが、当業界におきましては、消費者の生活防衛意識が依然として根強い市場環境で激しい販売競争が続くなか、人手不足に伴う人件費と燃料・物流コストおよび原材料価格上昇の影響もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とした主力製品の品質向上に継続して取組み、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に注力いたしました。「絹艶」、「北の国のベーカリー」、「ラブラブサンド」など主力シリーズ製品の品質訴求や取扱拡大をはかるとともに、消費者キャンペーンを活用して売上の確保に努めました。また、生産、販売、管理の各部門における業務のさらなる見直しや効率化を進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、“しっとり、やわらか”な食感を訴求して引き続き主力の「絹艶」、「絹艶北海道」の取扱を拡大するとともに、新製品の本格派山型食パン「イギリス食パン」およびバラエティ食パン「あんブレッド」、「牛乳ブレッド」投入の寄与もあり、売上は順調に推移しました。菓子パン部門は、ペストリー類やコッペパン類が伸び悩み、前年同期の売上を下回りましたが、生地やしっとり感をアップした「北の国のベーカリー」シリーズの取扱に努めたほか、季節感を取り入れた製品やコンビニエンスストア向け製品の強化により売上の確保に努めました。和菓子部門は、ロングライフの和生菓子や北海道産原料を使用した「福かまど」シリーズは堅調に推移しましたが、饅頭類や串団子製品が伸び悩み前年同期を下回りました。洋菓子部門は、チルドデザート「きょうのドルチェ」シリーズや「中札内産たまごのロールケーキ」シリーズの新製品投入などにより売上の回復に努めましたが、コンビニエンスストア向け製品の売上減少の影響が大きく、前年同期の売上を下回りました。米飯は、コンビニエンスストア向け製品の減少を量販店向け製品の拡大により売上確保に努めましたが、前年同期の売上を下回りました。調理パンは、「絹艶サンド」の品揃え強化とコンビニエンスストアおよび量販店向け製品の取扱拡大により大幅に伸長し、調理パン・米飯部門合計では、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は13,298百万円(対前年同期比99.0%)となりました。利益面では業務の見直しや効率化に努めましたが、人件費・物流費などのコスト上昇を吸収するには至らず、営業利益は200百万円(対前年同期比56.7%)、経常利益は230百万円(対前年同期比62.4%)となりました。四半期純利益は、次年度稼働予定であるデリカ新工場建築に伴う既存建物の解体・撤去などの費用を特別損失に計上したことにより107百万円(対前年同期比45.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は13,742百万円で前事業年度末に対し959百万円増加しました。流動資産は4,883百万円で主に現金及び預金が72百万円、売掛金が492百万円増加した結果、前事業年度末に対し614百万円増加しました。固定資産は8,858百万円でその他有形固定資産に含まれる建設仮勘定が419百万円計上され、有形固定資産が320百万円増加した結果、前事業年度末に対し345百万円の増加となりました。負債合計は9,151百万円で主に支払手形及び買掛金が212百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が728百万円増加した結果、前事業年度末に対し856百万円増加しました。純資産合計は4,590百万円で前事業年度末に対し103百万円増加しました。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は33.4%、1株当たりの純資産は2,192円30銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、引き続き緩やかな回復基調を辿ることが期待されますが、当業界におきましては、消費者の節約志向が根強く販売競争が激化するなか、人手不足に伴う人件費の上昇に加え原材料価格・燃料価格の上昇など、厳しい経営環境が継続することが予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心に主力製品のさらなる品質向上を推進し、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品開発に努めてまいります。食パン「絹艶」、菓子パン「北の国のベーカリー」、和菓子「福かまど」など主力シリーズ製品の取扱拡大に注力するとともに、簡便性・健康増進などの付加価値を高めた製品や、季節の素材・北海道産原料を活用した製品など、お客様の多様化するニーズに対応した製品の開発・育成に取組み、生産・販売の連携強化による製品施策・営業戦略の展開により売上拡大をはかり、各部門における一層の業務効率化を継続して推し進め、業績向上に向けて努力してまいります。

なお、平成30年3月期通期に関する業績予想につきましては、平成29年10月31日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,895,773	1,968,336
受取手形及び売掛金	1,988,304	2,481,010
商品及び製品	41,461	19,266
仕掛品	41,394	49,896
原材料及び貯蔵品	140,526	211,194
繰延税金資産	83,376	37,878
その他	80,128	118,024
貸倒引当金	△2,039	△2,017
流動資産合計	4,268,925	4,883,589
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,449,574	1,425,102
機械及び装置(純額)	1,326,196	1,257,862
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	205,141	618,900
有形固定資産合計	7,643,318	7,964,271
無形固定資産		
その他	112,564	89,652
無形固定資産合計	112,564	89,652
投資その他の資産		
投資有価証券	545,970	608,051
投資不動産(純額)	74,938	74,910
繰延税金資産	86,682	77,826
その他	49,980	44,053
貸倒引当金	△23	-
投資その他の資産合計	757,548	804,841
固定資産合計	8,513,431	8,858,765
資産合計	12,782,356	13,742,355

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,969,053	2,181,678
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	493,392	511,932
未払法人税等	112,339	11,838
賞与引当金	215,537	101,888
その他	1,038,570	1,136,019
流動負債合計	4,578,892	4,693,356
固定負債		
長期借入金	919,192	1,629,358
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,536,962	1,573,540
役員退職慰労引当金	67,623	62,599
その他	1,800	1,950
固定負債合計	3,716,156	4,458,026
負債合計	8,295,049	9,151,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	546,526	612,055
自己株式	△11,490	△13,047
株主資本合計	1,587,009	1,650,981
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	205,956	245,649
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,900,297	2,939,990
純資産合計	4,487,306	4,590,972
負債純資産合計	12,782,356	13,742,355

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,436,955	13,298,084
売上原価	9,526,983	9,459,191
売上総利益	3,909,971	3,838,892
販売費及び一般管理費		
販売費	2,966,421	3,021,021
一般管理費	590,125	617,551
販売費及び一般管理費合計	3,556,547	3,638,572
営業利益	353,424	200,319
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	11,751	20,166
受取賃貸料	8,254	8,258
受取保険金	10,115	13,084
その他	5,928	6,136
営業外収益合計	36,061	47,653
営業外費用		
支払利息	20,280	17,570
その他	0	0
営業外費用合計	20,280	17,570
経常利益	369,205	230,403
特別利益		
固定資産売却益	2,210	2,830
投資有価証券売却益	-	90
特別利益合計	2,210	2,920
特別損失		
固定資産売却損	215	-
固定資産除却損	6,823	56,457
減損損失	35	27
特別損失合計	7,073	56,485
税引前四半期純利益	364,343	176,838
法人税等	127,076	69,412
四半期純利益	237,267	107,426

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。